

置賜文化フォーラム講演会

第1部 『冷泉家の歴史と文化』

講師 王朝の和歌守・冷泉家 25代当主 冷泉為人氏

王朝の和歌守・冷泉家は、藤原定家の孫、冷泉為相(ためすけ)を初代として、藤原道長の流れをくむ公家の家系であります。藤原俊成、定家、為家と三代続いて勅撰和歌集の撰者についたことによって「和歌の家」としての基礎を確立し、以来800年もの間、冷泉家に受け継がれて今日に至っています。

冷泉 為人(れいぜい ためひと)氏

兵庫県加古郡稲美町出身。昭和19年3月2日生。関西学院大学大学院文学博士課程満期退学。文学修士号修得(関西学院大学)。近世絵画専攻。冷泉家25代当主。公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長。同志社女子大学客員教授。立命館グローバル・イノベーション研究機構特別招聘教授。関西学院大学非常勤講師、同志社大学大学院非常勤講師等。著書、『週刊アーティスト・ジャパン(円山応挙)』、『日本屏風絵集成第八巻 花鳥画』、『日本屏風絵集成第十六巻 走獣画』、『花鳥画の世界第六巻 京派の意匠』、『近世大坂画壇』、『五節供の楽しみー七草・雛祭・端午・七夕・重陽』、『瑞穂の国・日本ー四季耕作図の世界』、『京都冷泉家の八百年』、『冷泉家・蔵番ものがたり』等。明石市文化功労賞受賞(平成10年)、京都府文化賞功労賞受賞(平成19年)。



第2部

戦国武将の歌 武将が和歌をたしなんだ理由とは

☆戦国武将の歌・政宗の文芸の著者

筑波大学大学院教授 綿拔豊昭氏

現代の連歌 亀岡文殊堂奉納連歌会の報告

☆亀岡文殊堂奉納連歌会宗匠

帝塚山大学名誉教授 鶴崎裕雄氏



日時 平成24年9月9日(日) 午後1時30分より(1時開場)

場所 高畠町浜田広介記念館ホール

入場料 500円(会場費) 定員100名 事前申し込みが必要です。

☆参加申し込みは裏面にご記入の上FAXか電話でお願いいたします。

主催 王朝の和歌守・冷泉家25代当主講演会実行委員会

協賛 置賜文化フォーラム

事務局 一般社団法人 高畠町観光協会 電話 0238-57-3844

◎ 9日9日(日)午前10時より講演会に先立って、亀岡文殊堂において連歌の奉納が行われます。裏面を参照の上ふるってご参拝ご見学ください。